

天下泰平 (1955)

メディア 映画
ジャンル
製作国 日本
色彩 B&W
初公開日 1955/01/29

【解説】
源氏鶏太の同名小説を「母の初恋」の八田尚之が脚色し「芸者小夏」の杉江敏男が監督。撮影を「誘蛾燈」の完倉泰一、美術を「魔子恐るべし」の村木与四郎、音楽を「太陽のない街」の飯田信夫がそれぞれ担当した。三船敏郎がシベリアから復員したサラリーマンを演じている。
森製作所の社長だった森伸吾は、終戦のどさくさで大半の自社株を大和機械の岡崎に奪われ、社名を東洋電機製作所に変えられ、自身は同製作所の総務部長にさせられていた。かつて森製作所の社員だった立春大吉がシベリアから戻ってきたことから、森一派は岡崎一派と対決することにした。大吉は社長秘書だった日高聖子とともに、所持会社の社長を務める親友の杉山に相談し、一般に売り出される東洋電機の株を買い占める作戦を思いつくのだが…。

【クレジット】
監督 杉江敏男
製作 堀江史朗
原作 源氏鶏太
脚色 八田尚之
撮影 完倉泰一
美術 村木与四郎
音楽 飯田信夫
出演 三船敏郎 Toshiro Mifune 立春大吉
久慈あさみ 日高聖子
佐野周二 杉村洋介
笠智衆 森信吾
川崎弘子 森信子
司葉子 森明子
見明凡太郎 岡崎才助
宝田明 岡崎才太郎
上田吉二郎 赤座社長
村上冬樹 野田課長
森川信 柳川徳助
北川町子 柳川恵子
左ト全 大久保彦一
飯田蝶子 大久保辰江
瀬良明 阿部野
林幹 鬼山
藤原釜足 有難うさん
田島義文 山村耕吉

山田巳之助
堺左千夫
北条ゆかり
寿美花代
音羽久米子

中島総務
登呂
ミナコ
矢瀬由比子
女中